



# あと一步の向上に向けた取組

## 函館市立北中学校

生活習慣・学習習慣の形成      基礎的・基本的な知識・技能の習得      望ましい学習態度の育成      学校組織・指導体制の改善

### 1 学力向上の具体的な方策

今年度、本校では「思考力・判断力・表現力を高め、確かな学力を育む学習指導の工夫」に焦点をあて、次の三点についての取り組みを行った。

- ①全教職員が実践を交流し合いながら「わかる授業づくり」に取り組んだ。
- ②その中で、思考力・判断力・表現力を高める指導方法を工夫した。
- ③学習意欲を向上させるために、評価方法や個に応じた指導を具体化した。

### 2 取組の概要

《①について》生徒の側に立った、わかる授業づくりへの共通理解のもと、授業の導入部分に着目しながら、教材を工夫して興味・関心を引き出したり、学習形態で授業にメリハリをつけたりと、視点を明確にした授業作りを、教科ブロック（3つ）に分け行った。

《②について》ブロック毎の授業への取り組みにおいて、思考を促す発問や指示・話し合い活動の取り入れ方・問題解決や体験の場の設定を工夫した。実際に授業交流を行い、各教科での授業づくりに取り組み、連携しあって指導力の向上を図った。特に、言語活動の充実については、各教科ごとに具体的な活動内容を洗い出し、授業のなかで意識的に位置づけ、生徒への働きかけを行った。

《③について》学習活動に対する評価を授業の計画の中に明確に位置づけ、その見取り方や生徒への返し方も意識した授業づくりをすることで、生徒が次のステップを明確にしなが、学習活動ができるように心がけた。

《その他》開校30周年式典では生徒が主役という視点で、司会進行や合唱を創りあげたり、全学級道徳の授業公開を行った。日常的にも、放課後学習サポート、数学チームティーチング、奉仕活動や食育の授業、生命尊重に関わる講話集会等々、様々な活動で生徒に学びの視点を与えている。さらに、意図的計画的な行事への取り組みを通じて授業の基盤であるとなる「学級づくり」を大切にしている。



↑ 数学：放課後学習サポートの様子

### 3 成果（○）と課題（●）

○視点を明確にした授業づくりによって、生徒が意欲的になる様子が、つぶやきなどに見られた。また、流れを踏まえた学習活動により見通しをもって取り組む姿が確認された。今後、各種検査の追跡調査とともに、上記の取り組みを共通理解のもと継続していくことで、学力の向上が図られると考える。

●保護者や生徒への学校評価に関わるアンケートから、特に家庭での学習習慣の定着度を向上させなければいけないことがわかったので、来年度の取り組みのひとつとして計画している。また、道徳教育の面から生徒の自尊感情を高め、自己実現に向けた取り組みのなかで更なる学習への意欲化を図りたい。